

注意例



毛足の長い絨毯(ジュタン)や、厚手のマットの上では使用しないで下さい。

注意例



暖房器にタオルや毛布などを被せないで下さい。

安全装置の正しい復帰方法の手順

取扱説明書4ページ参照

電源スイッチ(オレンジ)だけが点灯し、ワット数切替スイッチ(グリーン)が消灯していることを確認してください。

電源スイッチ(オレンジ)を「切」にしてからコンセントプラグを抜き、異常の原因を取り除いてください。

復帰処理は暖房器本体が十分に冷めて(約20分)から行ってください。



電源スイッチ
点灯状態

ワット数
切替スイッチ
消灯状態

スリット(切り込み)の位置を確認してください。(左右各一ヶ所にあります。)

本体天面に収納されているサーモ復帰レバーを引き抜きます。

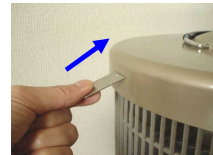


スリット位置



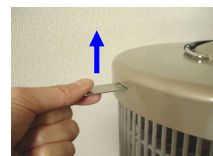
サーモ復帰レバー
収納箇所。

スリットにサーモ復帰レバーを差し込みます。中央のポッチ(突起)部分まで、下から斜め上方向に差し込みます。



中央ポッチ(赤矢印)。

差し込んだレバーの端を上方向に持ち上げ、「カチッ」という音を確認してください。この操作を左右のスリットで行います。



コンセントプラグを差し込み、電源を入れ直し、ワット数切替スイッチ(グリーン)が点灯したら安全装置が復帰し、使用可能となります。忘れずに、「サーモ復帰レバー」を元の収納場所に戻してください。



電源スイッチ
点灯状態

ワット数
切替スイッチ
点灯状態

正しい使い方の事例

取扱説明書と一緒に大切に保管してください。

暖房器内に熱がこもらないように、下に隙間ができる場所でお使い下さい。(フローリングの床、畳、台の上など。)

